

Market Watching

発表日：2020年7月27日(月)

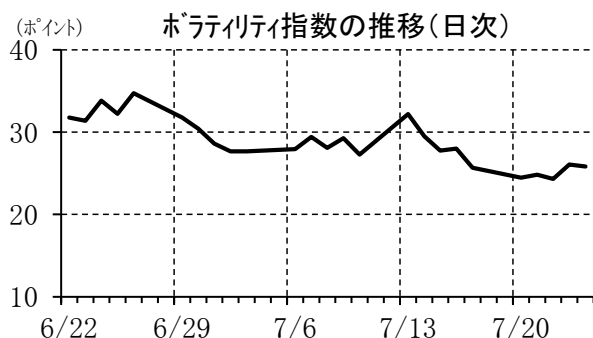
注目されるコロナの影響を織り込んだ業績見通し(マーケットウィークリー)
～感染拡大傾向継続＋米中関係悪化で市場のセンチメントは芳しくない～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
7月20日(月)	日本：貿易統計(6月)・輸出	▲26.2%	▲24.6%	▲28.3%	前年比
	・輸入	▲14.4%	▲17.6%	▲26.2%	前年比
	・貿易収支	▲2,688	▲119	▲8,382	億円
7月21日(火)	日本：全国消費者物価指数(6月)・総合	+0.1%	+0.1%	+0.1%	前年比
	・除生鮮食品	0.0%	▲0.1%	▲0.2%	前年比
	日本：全国百貨店売上高(6月)・店舗数調整後	▲24.3%	—	▲65.6%	前年比
7月22日(水)	日本：PMI製造業景気指数(7月)	42.6	—	40.1	ポイント
	PMIサービス業景気指数(7月)	45.2	—	45.0	ポイント
	米国：FHFA住宅価格指数(5月)	▲0.3%	+0.4%	+0.2%	前月比
	米国：中古住宅販売件数(6月)	472	465	391	万件
7月23日(木)	南ア：金融政策委員会	3.50%	3.50%	3.75%	平均レート
	米国：新規失業保険申請件数(7/18終了週)	1,416	1,293	1,300	千件
7月24日(金)	英国：小売売上高(6月)・除自動車燃料	+13.5%	+7.9%	+10.2%	前月比
	ユーロ：PMI製造業景気指数(7月)	51.1	50.0	47.4	ポイント
	PMIサービス業景気指数(7月)	55.1	51.0	48.3	ポイント
	米国：PMI製造業景気指数(7月)	51.3	52.0	49.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数(7月)	49.6	51.0	47.9	ポイント
	米国：新築住宅販売件数(6月)	77.6	69.5	67.6	万件
7月25日(土)	—				
7月26日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.589	▲3.8	▲4.0	▲167.1	0.158	0.177	0.853
日本	0.010	+0.0	+0.0	+16.5	0.017	0.004	-0.029
ドイツ	-0.448	▲0.1	▲0.8	▲7.0	-0.448	-0.450	-0.394
豪州	0.866	▲0.2	▲5.7	▲43.0	0.888	0.905	1.007
株価							
NYダウ	26469.89	▲0.8	+4.0	▲2.9	26155	25208	26253
日経平均	22751.61	+0.2	+1.0	+4.8	22537	21385	21953
ユーロSTOXX50	3310.89	▲1.6	+3.6	▲6.3	3304	3101	3350
上海総合	3196.77	▲0.5	+7.3	+9.4	3206	2985	2954
為替相場							
ドル/円	106.14	▲0.8	▲0.8	▲1.9	107.16	107.36	108.34
ユーロ/円	123.70	+1.1	+2.7	+2.6	121.63	119.36	119.94
豪ドル/円	75.41	+0.7	+2.6	▲0.1	74.67	72.18	72.48
ユーロ/ドル	1.1656	+2.0	+3.6	+4.6	1.135	1.112	1.107
商品市況							
WTI	41.34	+1.8	+8.8	▲26.0	40.34	31.46	42.91
金	1897.5	+4.8	+7.5	+33.3	1807	1749	1621

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (7/20~7/24) の金融市場は、世界の新型コロナウイルスの感染者の増加傾向が続く中で、方向感に乏しい展開が続いた。経済指標では、米国の企業景況感が予想を下回る冴えない結果となったほか、日本の企業景況感でも回復への動きが緩慢なことが示唆された。米株式市場は、本格化する企業決算を背景に、個別中心の展開となった。また、米中関係の悪化傾向が続いていることを示す各種報道が、市場のセンチメント悪化に繋がった。

今週のマーケットは、企業の業績発表が続くほか、週内に発表される経済指標も比較的注目度の高いものがあり、多くの材料をこなすことになる。日本の企業決算では、6割近くの企業が非開示として見送ってきた2021年3月期決算の見通しが注目される。新型コロナウイルスの蔓延による悪影響を強く受けている業種に見通しの非開示企業が多いことに加え、足元で国内の感染拡大傾向が強まるなど、ネガティブな材料も増えており、業績見通しは予想以上に慎重なものになる可能性がある。経済指標では、欧米で4-6月期の経済成長率が発表されるが、いずれも年率換算で大幅二桁マイナスとなることが見込まれており、驚くような数字が出たとしても、すでに経済活動は再開され始めており、市場へのネガティブインパクトは限定的なものにとどまろう。もっとも、先行きの景気の回復力については、感染の沈静化に苦慮している状況から慎重な見方が強まる傾向にある。米国ほど目立って感染者が再拡大していない欧州でも、このところジワリと加速気味になっており、市場のセンチメントは芳しくない。悪化傾向を強めてきた米中問題も重しとなり、引き続きやや腰の引けた市場展開が続くものと予想される。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
7月27日(月)	日本：法人企業統計（1-3月確報）・設備投資（除ソフト） ・経常利益	★★★	—	+3.5%	前年比
		★★	—	▲32.0%	前年比
	ドイツ：ifo景気動向指数（7月）	★★	89.3	86.2	ポイント
	米国：製造業受注（6月）・耐久財 ・非国防資本財（除航空機）	★★★	+6.5%	+15.7%	前月比
7月28日(火)	米国：S&Pコアブレンディング・住宅価格指数・20都市（5月）		+4.1%	+4.0%	前年比
	米国：消費者信頼感指数（7月）	★★★	96.3	98.1	ポイント
	米国：リッチモンド連銀製造業指数（7月）	★	+5.0	0.0	ポイント
7月29日(水)	豪州：消費者物価（4-6月）・総合 ・トリム平均	★★	▲0.5%	+2.2%	前年比
		★★	+1.3%	+1.8%	前年比
	米国：FOMC・上限金利 ・下限金利	★	0.25%	0.25%	FF金利
		★	0.00%	0.00%	FF金利
	米国：FOMC議長記者会見	★★★			
7月30日(木)	日本：商業動態統計・小売販売額（6月）	★★★	▲6.6%	▲12.5%	前年比
	ドイツ：失業率（7月）	★	6.5	6.4%	前年比
	ユーロ：失業率（6月）	★	7.7%	7.4%	
	米国：新規失業保険申請件数（7/25終了週）	★★★	1,450	1,416	千件
	米国：実質GDP速報値（4-6月期）	★★★	▲34.0%	▲5.0%	前期比年率
7月31日(金)	日本：労働力調査・失業率（6月）	★★	3.1%	2.9%	
	日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率（6月）	★★	1.14倍	1.20倍	
	日本：鉱工業生産指数（6月）	★★★	+0.9%	▲8.9%	前月比
	日本：住宅着工戸数（6月）	★	80.5	80.7	万戸
	日本：消費動向調査・消費者態度指数（7月）	★	—	28.4	ポイント
	中国：PMI製造業景気指数（7月）	★★★	50.8	50.9	ポイント
	ユーロ：実質GDP速報値（4-6月期）	★★★	▲12.0%	▲3.6%	前期比
	ユーロ：消費者物価指数速報値（7月）・総合 ・コア	★	+0.3%	+0.3%	前年比
		★	+0.8%	+0.8%	前年比
	米国：個人所得支出統計（6月）・実質個人消費 ・PCEコアフレタ	★★★	+5.1%	+8.1%	前月比
			+0.9%	+0.5%	前年比
米国：シカゴ地区PMI（7月）	★★	43.5	36.6	ポイント	
8月1日(土)	—				
8月2日(日)	—				

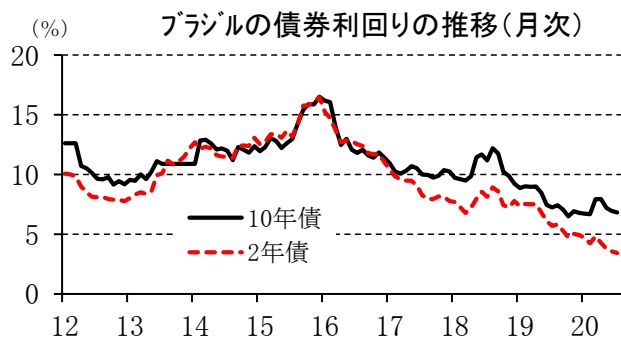
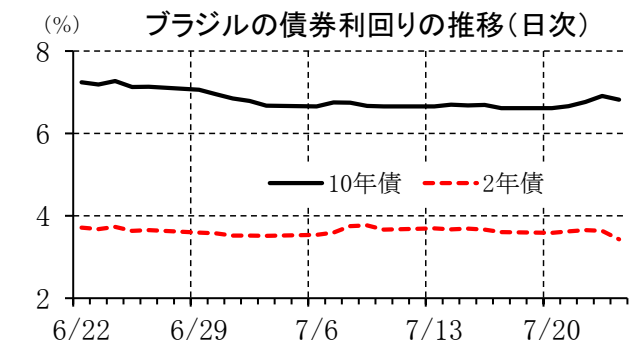
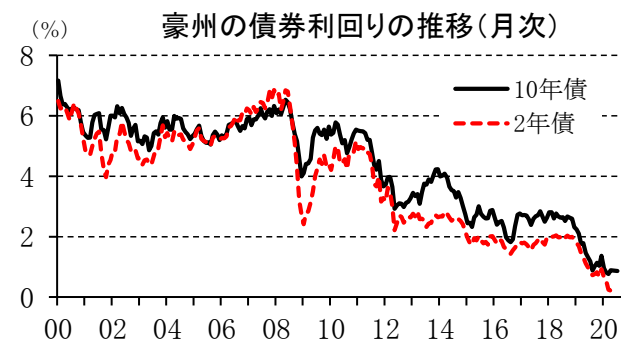
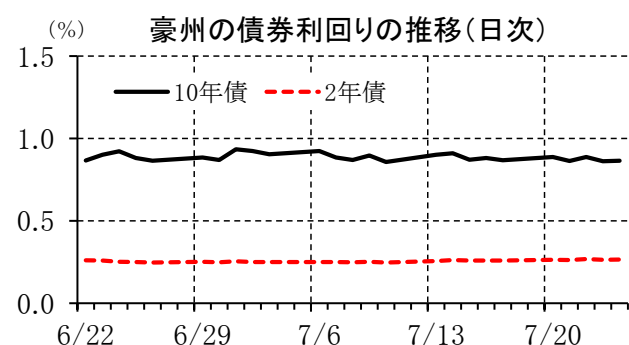
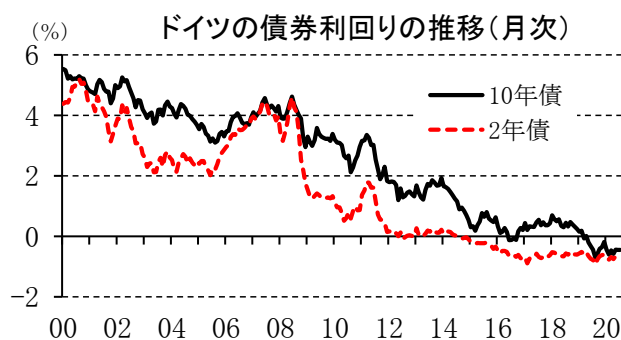
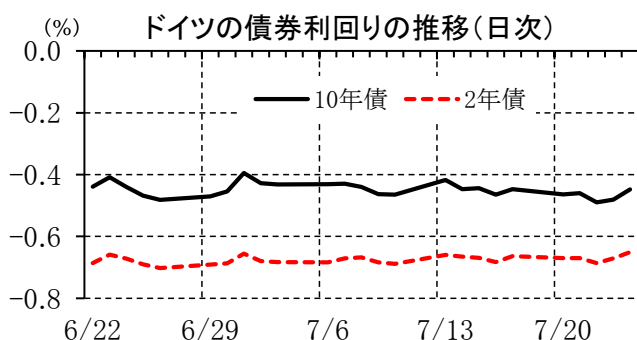
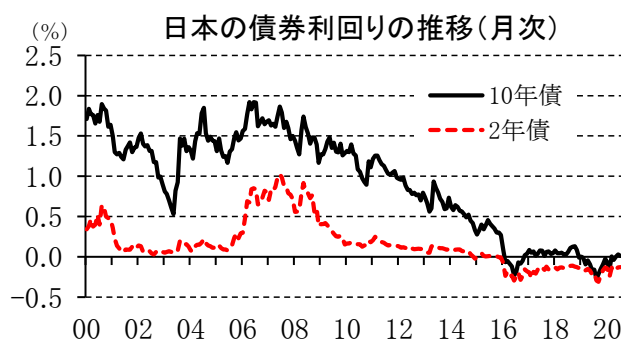
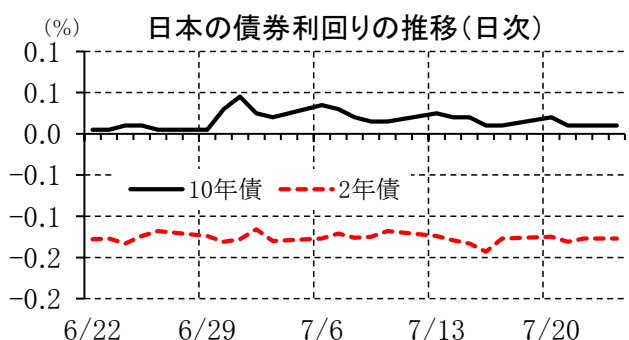
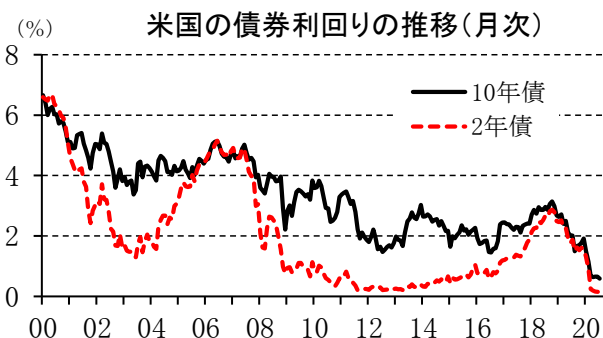
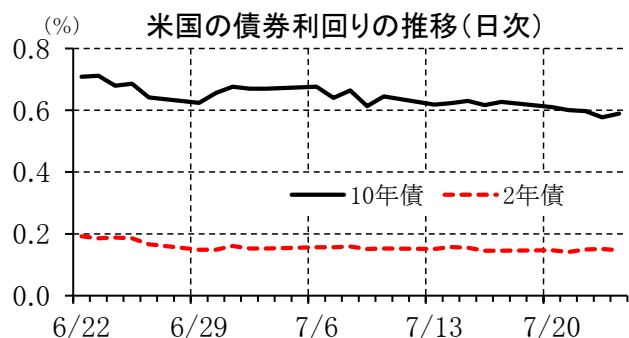
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

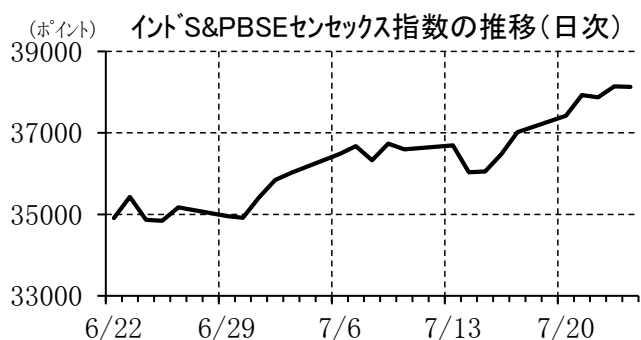
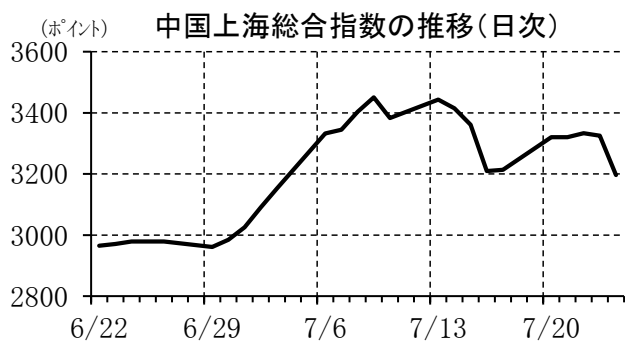
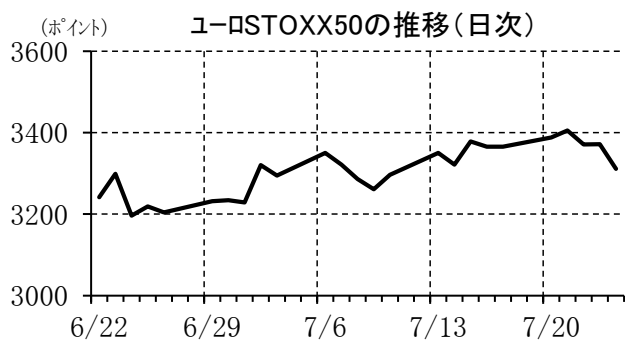
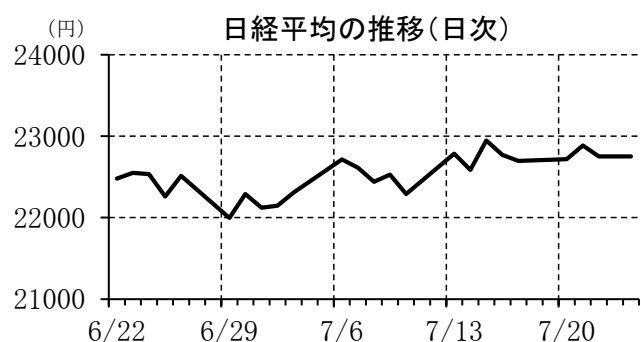
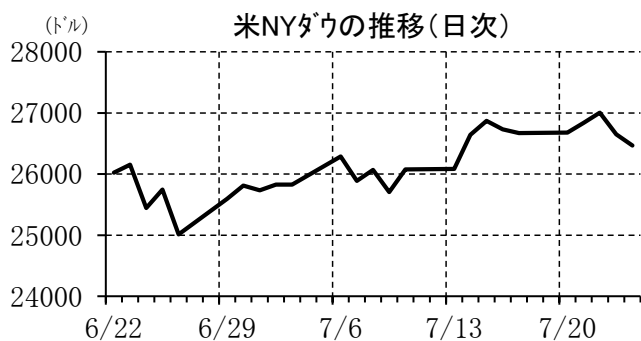
発表日	イベント	注目度	備考
7月27日(月)	日本：金融政策決定会合「主な意見」（7月分）	★	
7月28日(火)	—		
7月29日(水)	日本：雨宮日銀副総裁記者会見	★	
7月30日(木)	—		
7月31日(金)	—		
8月1日(土)	—		
8月2日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

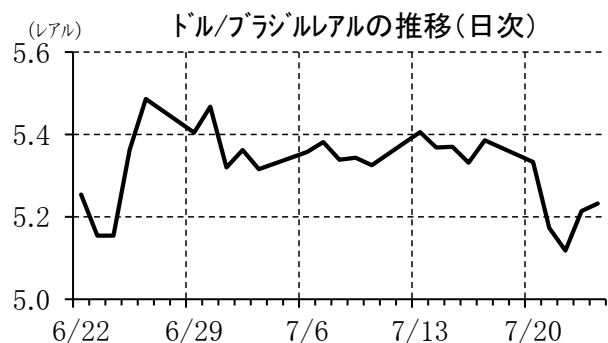
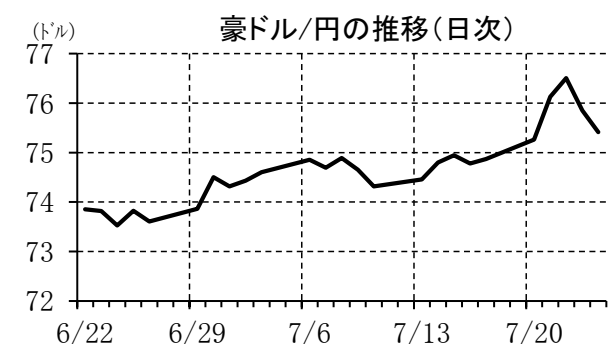
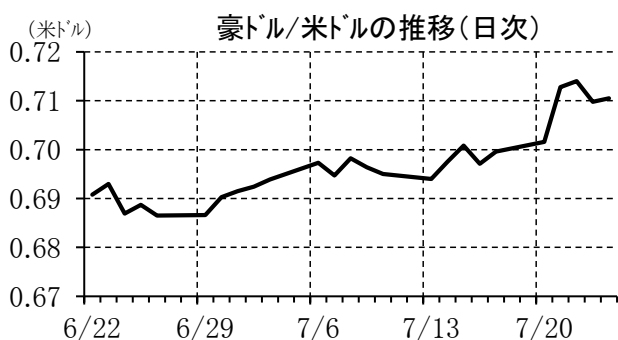
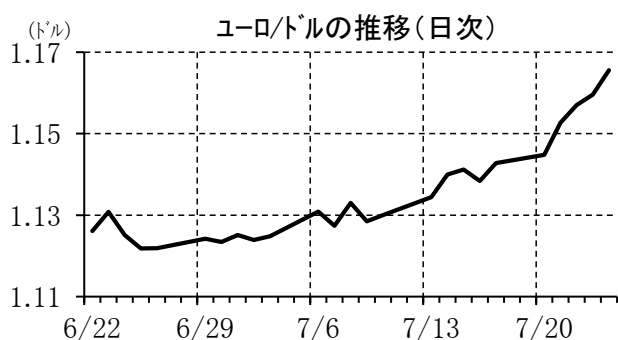
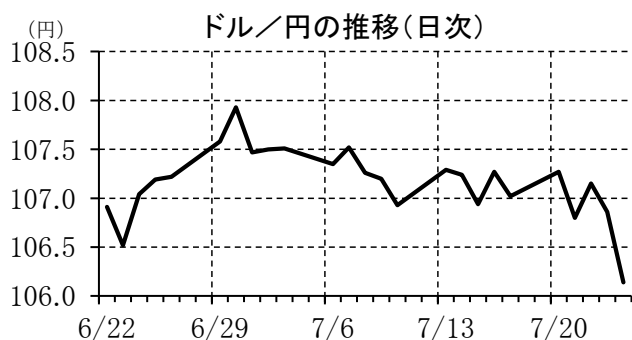
【債券利回り】



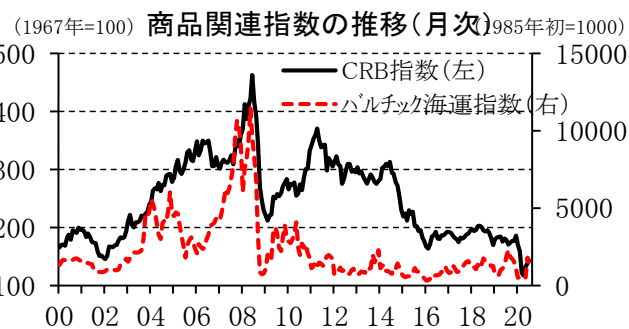
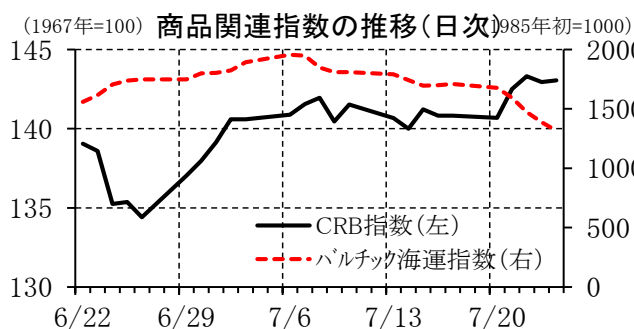
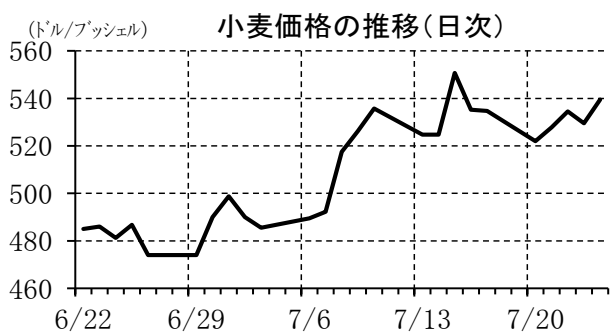
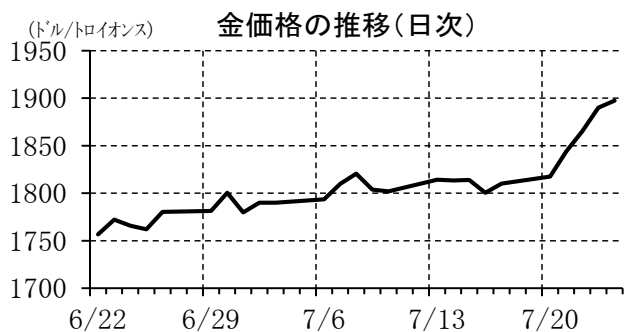
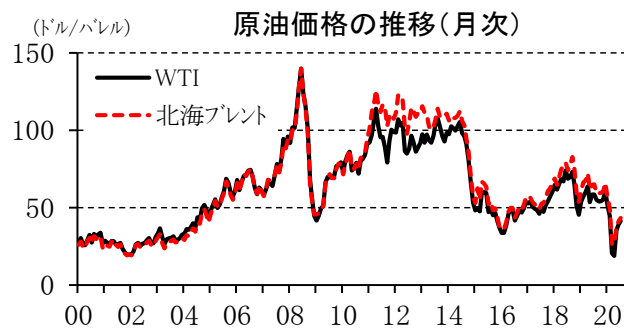
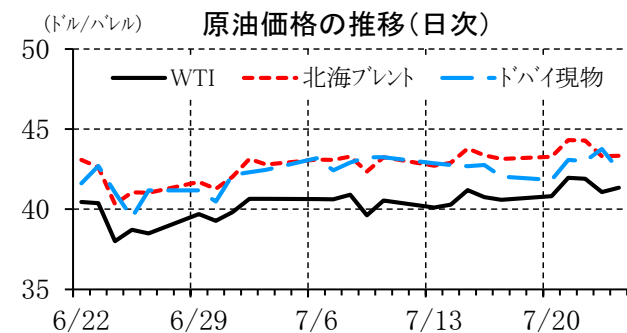
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。